

中間評価結果（平成17年度採択研究課題）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	多機能検査車走行による道路構造物の健全性評価	京都大学大学院 助教授 杉浦 邦征	C
<p>&lt; 研究継続の妥当性評価 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行検査技術や健全性評価技術の現段階での実現の見通し、研究の進捗状況が良好でないため、計画を修正する必要がある。</li> </ul> <p>&lt; 修正内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時速 60km 程度の走行での検査技術の実現、および検査車のイメージを明確にした研究計画を再提出していただきたい。</li> <li>・ 計測しようとするデータ（物理量）、そのデータに基づく健全性評価技術について明確にしていきたい。</li> </ul> <p>&lt; 今後の研究計画・方法への指摘事項 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設時の設計情報を組み合わせた評価技術、あるいは新設時の初期データがない状態で健全性を評価する方法について、検討が必要と思われる。</li> <li>・ 実用化に向けて、健全度評価手法の要求性能に見合う設定を行うことが望ましいと考えられる。</li> </ul>			

評価

- A：当初計画は順調に実施され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と評価される。
- B：当初目標を達成するためには、評価者からの指摘事項に留意し、一層の努力が必要と判断される。
- C：このままでは当初目標を達成することは難しいと思われるので、評価者からの指摘事項に沿って、当初計画の適切な変更が必要と判断される。
- D：現在までの進捗状況に鑑み、今後の努力を待っても当初計画の達成は困難と思われるので、研究を中止することが妥当と判断される。